

東京大学医科学研究所倫理審査委員会 平成26年度第1回議事要旨

日 時： 平成26年4月17日（木）10:00～11:00
場 所： 1号館2階会議室
出席者： 長村（文）委員長
成澤、関、加藤、藤本、田村、吉田、田中、武川の各委員
欠席者： 北村委員
陪席者： 武藤研究倫理支援室長、神里研究倫理支援室特任准教授
菊池研究支援課長、研究推進チーム高田専門員、吉田主任、金沢主任

議事に先立ち、今年度から委員任期が更新となり、「東京大学医科学研究所倫理審査委員会に関する内規」（以下、「内規」という。）第3条第3項により、新たな委員長選任まで議事進行を務めることについて長村委員長から説明があり、了承された。

（議事）

1. 委員紹介、委員長の選出及び副委員長の指名について

長村委員長から、昨年度末で大瀧 敦子 委員が退任となり、今年度から田村 京子 委員が就任した旨説明があり、委員から自己紹介があった。

次いで新たな委員長の選出について事務局が議事進行を代行する旨説明があり、内規第3条第3項により、委員から推薦された長村委員が出席の全委員の了承のもと、引き続き委員長に選出され、続いて同項により、委員長が北村委員を引き続き副委員長に指名した。

長村委員長から、委員長就任の挨拶に続き、「疫学研究に関する倫理指針」及び「臨床研究に関する倫理指針」における、倫理審査委員会への付議の要否に関する審査（簡易審査）について、あらかじめ本委員会の委員及び研究倫理支援室の教員を簡易審査委員として指名する旨説明があり、了承された。

2. 倫理審査申請書の審査について

（1）26-10 「ヒト臍帯血幹細胞を利用したヒト免疫系モデルマウスの作製とその応用」（新規）

（申請者：実験動物研究施設・教授・甲斐 知恵子）

本件について、申請者から研究内容について説明があり、次いで研究デザイン、個人情報の匿名化等について質疑応答が行われた。審議の結果、以下の点を修正することを条件に承認することとした。

- ① 申請書3. 1) ①は「採取病院」、③は「担当臍帯血バンク」について施設名等を修正すること。
- ② フローチャートは試料の入手経路がわかるように記載すること。

（2）21-36 「母乳中成分とアレルギー発症との関連の調査」（変更）

（申請者：炎症免疫学分野・客員教授・國澤 純）

本件について、申請者から研究内容について説明があり、次いで調査対象等について質疑応答が行われた。審議の結果、以下の点を修正することを条件に承認することとした。

- ① 申請書6⑤に子供も対象者となるため、該当箇所を修正すること。

3. 倫理審査申請書の修正の報告

委員長から、以下の申請について委員会指摘事項に対する修正を確認し承認した旨説明があり、了承された。本学の役務提供基準及び業務委託時の個人情報の取扱いについて意見交換があった。

- 25-78
「遺伝子検査販売サービスに関する意識調査」
(申請者：公共政策研究分野・教授・武藤 香織)
資料1 調査票案 22. について表現ぶりを「遺伝子検査の結果を使用することを」と修正してはどうかとの意見があり、研究者に伝えることとした。
- 25-81
「成人急性骨髄性白血病に対する臍帯血移植における G-CSF 併用移植前処置の意義」
(申請者：血液腫瘍内科・准教授・高橋 聡)
- 25-87
「化膿レンサ球菌由来ヘム取り込み関連蛋白質 Shr の構造解析と低分子リガンドの探索」
(申請者：疾患プロテオミクスラボラトリー・教授・津本 浩平)
- 25-88
「HIV 感染者における慢性胃炎の免疫学的評価に関する研究」
(申請者：感染免疫内科・助教・安達 英輔)
申請書 2. 2 について誤記の指摘があり、研究者に伝えることとした。

4. 迅速審査の報告

委員長から、以下の申請について迅速審査による承認、簡易審査について説明があり、了承された。

- 24-16 (迅速、変更)
「白血球減少症や免疫不全症において発熱の原因となる病原微生物の網羅的解析」
(申請者：分子療法分野/血液腫瘍内科・教授/診療科長・東條 有伸)
- 25-13 (迅速、変更)
「炎症性腸疾患における細胞接着分子 CADM1 の発現異常の意義の解析」
(申請者：人癌病因遺伝子分野・講師・松原 大祐)
- 25-86 (迅速)
「急性骨髄性白血病の寛解導入療法における末梢血芽球減少割合の意義」
(申請者：血液腫瘍内科・助教・小沼 貴晶)

5. 前回（平成25年度第11回）議事要旨の内容について承認した。

6. その他

長村委員長から、研究実施状況報告書（年次報告書）について報告があり、報告書の様式、報告期間内での実績の記載方法、委員会での報告時期について意見交換があり、今後の対応については研究倫理支援室で検討することとなった。

以上